

平成23年度 第2回 福崎町地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 平成23年10月25日(火) 14:00~16:00

2. 場 所 福崎町役場 2階 大会議室

3. 出席者

	所 属 団 体	役 職 名	氏 名	代理等
会 長	兵庫県立大学環境人間学部	教 授	松本 滋	
委 員	福崎町区長会	会 長	中田 光夫	欠席
	福崎町老人クラブ連合会	会 長	庄 幹正	欠席
	福崎町商工会	会 長	後藤 雅一	村上 三郎 (事務局長)
	J R西日本福崎駅	副 駅 長	武知 芳直	欠席
	神姫バス株式会社姫路営業所	所 長	月野木 謙一	
	社団法人兵庫県バス協会	専務理事	中澤 秀明	
	社団法人兵庫県タクシー協会西播地区(神崎交通有限会社)	副 会 長	依藤 義光	
	神姫バス労働組合	書 記 長	中川 貴水	
	神戸運輸監理部兵庫陸運部	首席運輸企画 専 門 官	木村 淳三	
	中播磨県民局姫路土木事務所	企画調整担当 主 幹	大山 和弘	
	福崎警察署交通課	課 長	宮辻 義信	
	福崎町議会(民生常任委員会)	委 員	高井 國年	
	福崎町議会(産業建設常任委員会)	委 員	吉識 定和	
	福崎町	副 町 長	橋本 省三	
	福崎町まちづくり課	課 長	志水 利雄	
オブザーバー	近畿地方整備局姫路河川国道事務所	道路管理 第二課長	高村 裕一	欠席
	兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課	副 課 長	竹林 誠	欠席

(順不同 敬称略)

	所 属 団 体	氏 名
事 務 局	福崎町健康福祉課	高松 伸一
		谷岡 周和
	(株)丸尾計画事務所	丸尾 哲也
		西村 和記
		小林 巧

4. 配布資料

- 次第
- 座席表及び名簿
- 資料1 今後の検討の全体構成
- 資料2 サルビア号利用者アンケート速報集計結果
- 資料3 事業者・住民代表部会の結果報告
- 資料4 ミニデイサービスでの「サルビア号」に関するアンケート
- 資料5 サルビア号再編案比較
- 資料6 案1：全域予約型の具体例
- 資料7 案2：市街地部定時定路線型＋郊外部予約型（乗換えなし）の具体例
- 資料8 案3：市街地部定時定路線型＋郊外部予約型（乗換えあり）の具体例
- 資料9 路線バスの再編案

5. 傍聴の可否

傍聴可、傍聴人4名。

6. 開 会

(事務局)

ただ今から第2回福崎町地域公共交通会議を開催いたします。

本会議は設置要綱に則りまして公開とさせていただきます。司会進行をさせていただきます、事務局健康福祉課の高松です。よろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、設置要綱第4条の規定により委員の交代がございますので紹介させていただきます。社団法人兵庫県バス協会 専務理事が平成23年7月に小西専務理事から中澤専務理事に替わられ、就任いただいておりますので、ご紹介いたします。

それでは開会にあたりまして、松本会長よりご挨拶をいただきます。

7. あいさつ

(会 長)

部会なども開催し、福崎町の公共交通再編について議論が少しずつ進んでいます。福崎町の公共交通にとって重要な時期になってきていますので、皆様の有益なご意見をいただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

8. 今後の検討の全体構成

(1)今後の検討の全体構成(資料1)

事務局より、今後の検討の全体構成について(資料1)を説明

9. 報告事項

(1)サルビア号利用者アンケート速報集計結果(資料2)

事務局より、サルビア号利用者アンケート速報集計結果について(資料2)を説明。

(会 長)

有料化、電話予約、携帯電話の保有状況についてのデータは、皆様のイメージ通りの

結果となっていますか。サルビア号が有料になるより、電話予約をする制度になる方が利用しなくなると回答している人が多いです。

(委員)

市街地内々の移動が多くなっていますが、どの様な原因により多くなっているのか把握しているのでしょうか。

(事務局)

市街地関連の移動が多くなっているのは、市街地内は毎日運行となっていることや商業、医療、公共施設などが集中しているため、市街地関連の移動が多くなっています。

(委員)

現行のサルビア号利用者アンケート調査から、文珠荘へ移動している人が多くなっていることがわかります。今後、公共交通再編を検討する際にサルビア号利用者の移動状況を参考にしていると思いますが、現行のサルビア号利用者以外の潜在需要も公共交通再編を検討する際に参考にすべきではないでしょうか。

(事務局)

平成23年度第1回の地域公共交通会議資料で示していますが、去年の町民アンケート調査結果から市街地内々、市街地内外の潜在需要が多くなっていることを把握しています。今後、公共交通再編を詳細に検討する際に、町民アンケート結果から公共交通を必要としている人の移動状況を参考にしていきます。

(委員)

文珠荘とはどのような施設でしょうか。

(事務局)

文珠荘は低料金で利用できる入浴場や飲食店などがある高齢者のための憩いの場です。また、文珠荘は市街地部としていますが、福崎町の中心部からは少し離れている場所にあります。

(2)事業者・住民代表部会の結果報告(資料3)

事務局より、事業者・住民代表部会の結果報告について(資料3)を説明。

(委員)

事業者・住民代表部会では、サルビア号利用者アンケート速報集計結果(資料2)などのデータを示して開催しているのですか。

(事務局)

前回の部会では、サルビア号利用者アンケート速報集計結果を示していませんが、去年の町民アンケート調査結果や、現行のサルビア号利用者の移動状況を基にサルビア号再編案などを作成しています。

(委員)

サルビア号利用者アンケートでもわかる通り、高齢者は、予約をしてバスを利用することに対して躊躇する傾向にあります。その様な内容を部会内で示して再編案について議論しましたか。

(事務局)

サルビア号利用者アンケート速報集計結果では、予約をしてバスを利用することに対

して抵抗がある人もいますが、サルビア号利用者以外の高齢者の意見を聞く
と予約に対して抵抗があるという意見は少なかったです。普段からタクシーを利用して
いる人は、タクシーを利用する時に電話予約を行うのと同じ感覚で、バスを利用する時
に電話予約すれば良いだけと考えている高齢者もいました。

(委 員)

運行側と利用者が予約型の運行に対してイメージがかけ離れないようにしてほしいで
す。住民の方に再編案を説明する際、予約型はタクシーの様に電話予約をして戸口から
戸口までの移動ができるサービスとは違い、バス停や運行時間、本数が設定されている
バスに予約を入れる形態であることを説明する必要があると思います。高齢者は、バス
停や運行時間、本数が設定されているバスに予約をすることに対して非常に抵抗があり
ます。

現在のサルビア号は、1 便当たり 2~3 人と少ない利用者数なので、もっと使いやすく
して利用してもらいたいという考えだと思いますが、アンケート結果からすると、再編
をして有料化、電話予約制にすることによって、バス利用に抵抗が生じて利用者が減少
に転じると考えられ、利用者増に向けた再編にならないと思います。利用者が増加する
再編案を検討するべきであると思います。

(事務局)

資料 5 のサルビア号再編案比較で示している再編案については、町民アンケート調査
結果、サルビア号利用者アンケート結果などを考慮して、利用者増に向けた再編案とし
て作成しています。詳細な運行方法などは今後、検討していきます。

(会 長)

住民代表部会では案 1：全域予約型が最も良い案となっていますが、案 1 はタクシー
と同じ運行の戸口から戸口へ移動できるサービスに捉えられているように感じます。予
約型運行はバス停、仮ルート、時刻が決まっており、予約がないバス停については回ら
ず運行を合理化してサービスを向上させる運行です。

(委 員)

再編案で考えている予約型は、当日でも予約が可能でバスを運行するという形態です
か。普通の予約型は、運行日の前日までに予約を受け付けてバスを運行する形態である
と思います。

(事務局)

予約の受付時間は運行する側にとっては前日までの予約受付が良いと思いますが、利
用者側からすると予約の受付時間が 1 時間前までに設定されている方が便利であると思
えられ、他の地域でもその様に運行しているので 1 時間前まで予約が可能である運行を
考えています。

(委 員)

普通の予約型は、運行日の前日までに予約を受け付けて、前もって運行計画を立て運
行するので、1 時間前までに予約を受け付けると運行計画を立てて運転手に運行指示を出
す時間がないと思います。1 時間前までの予約を受け付けるのは不可能であると思
います。

(事務局)

予約型でも仮ルート、時刻を設定しているので、デマンドシステムを導入すれば予約

の受け付け時間が1時間前まで運行が可能であると考えています。具体的な運行案については、協議事項のサルビア号再編計画案で説明させていただきます。

(3)ミニデイサービスでの町民意向の把握について(資料4)

事務局より、ミニデイサービスでの「サルビア号」に関するアンケートについて(資料4)を説明。

(会長)

ミニデイサービスでの町民意向の把握は郊外部の地域だけではなく市街地部も開催するのでしょうか。

(事務局)

市街地部も含めて、町内の全域で開催する予定です。

10. 協議事項

(1)サルビア号再編計画案について

事務局より、サルビア号再編案比較について(資料5)、案1:全域予約型の具体例について(資料6)、案2:市街地部定時定路線型+郊外部予約型(乗換えなし)の具体例について(資料7)、案3:市街地部定時定路線型+郊外部予約型(乗換えあり)の具体例について(資料8)を説明。

(会長)

郊外部は川西、川東で隔日運行となっており、多くの便数が確保できています。隔日運行より郊外部の便数は減少するが、毎日運行にすることも考えられますので、どちらの運行が良いかも検討する必要があると思います。

(委員)

事業者部会で事業者の立場としては、サルビア号再編案の中で案2、案3を了承しました。住民代表部会では、利用者にとって単純に利便性が良いと考えられる案1が最も良いとなっていますが、住民に説明する際は、町内には既存のバス路線があるので、路線バスがあることも含めて説明していただきたいと思います。

他都市では、アンケートにはバスを利用すると記載したが実際バスを運行すると利用せず、運行後何年かで廃止するコミバスがあります。まず再編を検討する場合は利用者が増えることを考えた再編案にするべきであると思います。

電話予約をしたらバスが家まで来て戸口から戸口まで移動できるという勘違いをされる可能性はあると思います。システムとしては当日予約をして乗車できる予約型もあります。宍粟市で予約型を運行していますが、電話予約をするということに対してすごく負担に感じる方が多く、高齢の利用者が多いのでさまざまなトラブルも多いです。実際に運行をしてみないと全ての問題は把握できませんが、考えられる問題を踏まえて再編案の中身を検討していただきたいと思います。

サルビア号再編案(資料5)の既存路線への影響で案1の全域予約型が△となっているが、バス停数も多くなり実際はもっと路線バスへの影響があると思います。

(委員)

郊外部と市街地部で乗継し多少の待ち時間が発生したとしても、乗換え拠点がしっか

りと整備できていればあまり問題がないと思いますので、案3が良い案だと思います。

(会 長)

案1は全域予約型で市街地内も予約が必要で、市街地内では需要が多いため、予約が多くなると考えられます。市街地内は多い予約に対応するため、定時定路線型と変わらない運行となり、案1でも案2と変わりのない運行形態になると思います。結局は案2、案3で乗り換えがありかなしかのどちらの運行が良いか議論するようになると思います。本会議で意見もいただき、問題点の指摘もありましたので、本日、どの案にするか決定するのではなく、今後、部会などでさらに議論を進めて案を決定します。

(委 員)

予約型で運行するバスを公共交通として位置付けて良いのでしょうか。公共交通として再編を検討していくのであれば、これから利用者を増やす考えで、高齢者の移動需要への対応だけでなく、通勤や通学目的で移動する需要への対応も検討すべきだと思います。また、利用が増えるということは町の負担を少なくできるということですので、利用者増を考えた検討を進めていただきたいです。再編後のバス車両は10～13人乗りのワゴン車となっていますが、災害時に地域のバスで避難する例があり、その様な活用方法も考慮すると本当にバス車両がその大きさと良いのか一度検討する必要があると思います。

現在、福崎駅から企業への送迎バスが運行しており、朝夕以外の運行していない時間帯があります。法律的に難しいかもしれませんが、町の負担を軽減するということにもなりますので、運行していない時間帯にその送迎バスを利用することも、一度検討していただきたいです。

公共交通というのは、高齢者だけの交通ではないということも考えた上で、車両や運行形態を考えていただきたい。

(2) 路線バスルートの再編について

事務局より、路線バスの再編案について(資料9)を説明。

(会 長)

資料で示している路線バスの再編とサルビア号再編の関係は、合わせて検討を行っているのでしょうか。

(事務局)

現在は合わせて検討を行っておりません。

(委 員)

サルビア号の再編は、既存の路線バスに影響が出るといわれていますが、路線バスの利用者数が減少していく中で、既存の路線バスの運行本数をあと何年ぐらいは現行のまま維持していけるのでしょうか。

(委 員)

運行本数は、利用者の利用状況により、検討していき現在の運行本数まで減りました。あと何年現行の運行本数を維持できるかお答えできませんが、現在でも利用している方もいますし、路線を通っている市町からも補助金をいただいて運行していますので、できるだけ今の運行本数を維持できるように考えています。

また、再編しても利用者が増加しないということから、路線バスを元の運行に戻すというのは難しいので、路線バスの再編案については案として受け今後検討していきたいと思えます。

(会 長)

福崎町は大変なクルマ社会となっており、公共交通の再編は現在移動に困っていない住民にとってはあまり関係のない話だと思われています。しかし、今後、高齢化の進展、原油の高騰などのさまざまな問題や、先進国での若者のクルマ離れがある中で、このままクルマ社会でクルマに依存していれば済むという訳にはいかないだろうと思えます。現在はクルマ利用が多い中で公共交通の再編を行うのは、非常に難しい状況ですが、今検討している公共交通の再編は、クルマを利用することができなくても、公共交通で町内を移動できるまちづくりの一步であると思っています。皆様のご意見をいただいてより良い案を作っていきたいと思えますのでこれからもご協力をよろしくお願ひいたします。

(委 員)

前回の交通会議資料の中で、系統評価で利用者 1 人当たりの補助額と沿線人口 1 人当たり年間利用回数の目標を示していましたが、今後、各案でどれくらいの利用があれば目標を達成できるか、次回の交通会議で示していただきたいです。

丹波市では、予約型交通を導入する前に、地元説明会を 200 回ぐらい開催したと聞いていますので、福崎町もよく PR して利用者増に向けて努力してほしいと思えます。

9. 閉 会

(会 長)

本日予定しておりました議事は終了いたしました。皆さんご協力ありがとうございました。

(事務局)

本日受けたご意見、ご指摘などを受けて再編案を検討していきます。

今後、部会などを開催し検討を進め、第 3 回地域公共交通会議は来年の 1 月に開催の予定としておりますのでよろしくお願ひいたします。

これをもちまして、第 2 回福崎町地域公共交通会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。

以 上